



JALグループ、タンチョウの採食地の環境整備ボランティアを実施

～タンチョウの自立した未来のために～

2017年10月6日

第17012号

JALグループは、公益財団法人日本野鳥の会(以下、「野鳥の会」と共同で、「北海道の鳥」であるタンチョウの冬の採食地の環境整備を実施しました。

当ボランティアは、鶴居・伊藤タンチョウサンクチュアリを運営する野鳥の会のレンジャーの指導のもと、公募で選ばれたJALグループボランティア社員16名が、冬期に給餌に頼らず自然の中でタンチョウが餌を取れる環境(冬期自然採食地)を維持する活動で、今年で2回目となります。

JALグループは、作業や自然観察を通じて、タンチョウや生物多様性保全への理解を深め、これからも社会・地域への貢献活動に取り組んでまいります。

概要

日程： 10月5日(木)

場所： 北海道阿寒郡鶴居村

作業内容： 河川を塞いでいる倒木や河川敷地内のタンチョウの移動の妨げになる樹木をノコギリで伐採。太い樹木は野鳥の会レンジャーによりチェーンソーで伐採し、JALグループ社員で引き上げ作業を実施しました。

